

[訂正告知]

『日本医史学雑誌』第60巻第4号の日本医史学会会報50号480頁において下記の書籍名に誤りがございましたので、訂正いたしますとともにお詫び申し上げます。

(誤) 太田安雄『太田雄寧傳』「雄寧会」2014

(正) 太田安雄『増補太田雄寧傳』「雄寧会」2014

編集後記

2015年第2号をお届けします。第1号が総会抄録号でありましたが、4月25日26日の両日、大阪市中央区備後町の重厚な日本綿業倶楽部7階ホールにて、第116回学術大会・市民公開講座が多数の参加者により大盛況の中に行われたことを報告いたします。あわせて、杏雨書屋の特別展示会「近世京阪の医学」が道修町にて行われ、耳目を楽ませていただきました。また、24日の朝9時から、快晴の空のもと中之島公園にて「華岡合水堂碑」の除幕式が、100名を越える参列者にて行われました。学術大会のシンポジウムが、華岡合水堂碑建立を記念して松木明知さんの基調講演に始まる『華岡青洲の時代』であり、建立に尽くされた方々の労苦が報われるものであったと感じました。現在の『医』にかかわる人もそうでない人も、来阪の折には、美しい中之島中央公会堂の前庭、土佐堀川を望む合水堂ゆかりの地に建つこの記念碑にお立ち寄りいただければ、歴史を感じていただけたと思います。痛みのない手術の発想と実現が日本の医家の手で世界に先駆けて行われていたことの意味は大きいと思います。今回の総会の演題には、江戸の医学の実状についてのもが多く、町泉寿郎さんは『漢蘭折衷の医学』として市民公開講座で講演されましたが、近世の東アジアと西洋の交流を担った日本の封建社会の実相を良く知らせていただけたと思います。プログラムを練られた田中祐尾名誉会長、小曾戸洋会長、実行委員の皆様へ深く感謝します。時間の都合もあり18題が誌上発表となったと考えますが、月例会または支部会・地方会・研究会等での口頭発表の機会を持っていただき、会員を越えた多くの方々に聴く機会をあたえてほしいと感じました。そして本雑誌への原著、総説、その他の論文として投稿につながるよう期待します。

本雑誌のバックナンバーのウェブ公開について編集委員長より社員総会で報告され、会員総会でも報告がされました。本号には近代の医史学の論文が多くなりましたが、総会演題にも見られるように、多様な研究背景をもつ人による、多彩な研究課題発表の場である日本医史学会の雑誌が、会員をこえて、国際的にも、その智と研究に有用なものとなるように編集したいと思っております。

(渡部 幹夫)